

# 秋野不矩・金子富之が描く アジアの神々

2023年

6月17日(土) - 7月30日(日)

浜松市秋野不矩美術館

上：1. 金子富之《大舞虎》2019年  
下：2. 秋野不矩《ヴァラーハ（ヴィシュヌ化身 猪）》1992年  
浜松市秋野不矩美術館 蔵



## 世代も作風も全く異なる二人の作家が描くアジアの神々

秋野不矩（1908-2001）は、インドを何回も訪れ、風景や人々や動物を描き続けたことで知られていますが、数々の寺院や神々の造形も多く描いています。

一方、金子富之（1978年～）は、山形県の東北芸術工科大学・大学院で日本画を学び、その後2015年文化庁新進芸術家海外研修員としてカンボジアに一年間赴きました。アンコール・ワットで知られるシエムリアップでヒンズー教、仏教などの造形美術に触れ、様々な場所でドローイングやスケッチを続けました。ヒンズー教を源流とする神々は、アジア圏で多彩なイメージに展開されていますが、それらと金子自身の日本的なイメージも加えながら独自の作品を生み出しています。

今回、この世代も作風も全く異なる二人の作家が描いたアジアの神々たちが一堂に会するのは、特別な機会となります。秋野不矩が描くおおらかで慈愛深い彫像としての神々や人々の祈りの姿も、金子富之の描く絢爛な動物の姿の神々も、見る人の心に迫ってくることでしょう。

## 出品作品

\* 秋野不矩の作品コメントは過去の図録から転載、金子富之の作品コメントは本人による。

### 秋野不矩

シヴァ神は、ヒンドゥの三大神の中で最も地上的で、また土着的な神でもある。この作品は、シヴァが行をしている姿。シヴァは荒々しいところもあるが、救済の神でもある。天からガンジス河の水が流れ下る時に、大地が壊れないように、シヴァの頭で受けて、髪の毛の間から分けて大地に下ろしたという。



3



4

3. 秋野不矩《行者シヴァ》1978年 浜松市秋野不矩美術館 蔵  
 4. 秋野不矩《地の祈り》1987年 個人蔵  
 5. 秋野不矩《サラスヴァティ》1982年 浜松市秋野不矩美術館 蔵



5

### 金子富之

創造、維持、破壊の思想を持つヒンドゥー教。その破壊を司るシヴァの暗黒面を恐れた仏教徒が自らの内部に取り込んだ姿がヴァジュラバイラバ（怖畏金剛）であるとされます。ヤマーンタカの異名を持ち、死の神ですら撃殺する力を持つとされます。日本では大威徳明王がこれにあたり文殊菩薩の化身とされます。観想により「羯磨最勝王三摩地」を極めし者は生ける怖畏金剛として衆上の救済にあたりと言われています。



6



7

6. 金子富之  
 《怖畏金剛》2014年  
 公益財団法人 蟹仙洞 蔵  
 7. 金子富之  
 《沙羯羅龍王》2018年

## 展覧会概要

展覧会名： 秋野不矩・金子富之 が描く アジアの神々  
会期： 2023年6月17日（土）～7月30日（日）  
休館日： 月曜日 ※7/17（月・祝）開館、7/18（火）休館  
開館時間： 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
会場： 浜松市秋野不矩美術館  
〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣130  
○HP <https://akinofuku-museum.jp>  
○アクセス

### 公共交通機関のご利用

- ・JR東海「掛川駅」または「新所原駅」乗り換え、天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」下車、徒歩15分
- ・JR東海「浜松駅」乗り換え、遠州鉄道「西鹿島駅」下車、遠鉄バス「二俣・山東行」で「秋野不矩美術館入口」（7分）下車、徒歩10分 または遠州鉄道「西鹿島駅」よりタクシー7分

### お車でのご来館

※無料駐車場あり

- ・新東名「浜松浜北IC」から約10分、「浜松SAスマートIC」から約20分
- ・東名「袋井IC」から約30分、「浜松IC」から約35分、「浜松西IC」から約50分

観覧料： 一般800円、大学生・専門学校生・高校生500円、70歳以上400円、中学生無料  
※団体料金あり  
※障害者手帳等所持者及び介護者1名は無料

主催： 浜松市、（公財）浜松市文化振興財団  
共催： 中日新聞東海本社  
協賛： 遠鉄グループ、天竜浜名湖鉄道株式会社  
後援： K-MIX  
協力： 株式会社ミヅマアートギャラリー  
企画協力： アート・ベンチャー・オフィス ショウ

## 関連イベント

### 金子富之によるギャラリートーク

日時：6月17日(土) 14:00~  
会場：1F展示室  
申込：不要  
※詳細は、美術館HPにてお知らせします

広報の問い合わせ先

株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ（担当：市川、佐藤）  
〒151-0063 渋谷区富ヶ谷1-18-8-301 TEL 03-3485-7866 FAX 03-3485-7851  
e-mail:avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

FAX : 03-3485-7851 e-mail : avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえお送りください。

**1. 作品画像データのご提供**

本展覧会を貴社媒体にて紹介いただける場合に限り、プレスリリースに掲載の7作品の画像データを貸出いたします。  
ご希望の番号に○をつけてお申し込みください。

**2. 掲載についての注意事項**

- 必ず作家名、作品名、制作年、所蔵先を表記してください。
- 作品は必ず全図で使用してください。改変、部分使用、文字のせなどはできません。
- 確認のため、必ずゲラの段階で広報事務局に原稿をFAXかメールにてご送付願います。
- 作品使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。\*展覧会終了後の使用は出来ませんので ご了承ください。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙/誌を1部、広報事務局にご送付くださいますようお願い申し上げます。  
\*尚、掲載ページをpdfファイルにてお送りいただいても構いません。  
(その際は広報事務局までご一報ください)

**3. 読者・視聴者へのお問い合わせ先の掲載**

TEL : 053-922-0315 (浜松市秋野不矩美術館)

**4. 読者・視聴者へのプレゼント用招待券のご提供について**

本展広報用として、作品図版使用を条件に1媒体につき招待券5組10名様分をご用意いたします。  
ご希望の際は下記申込書にご記入の上お申し込みください。

## お申込みフォーム

貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		e-mail :	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
掲載予定号/放送予定日		掲載号発売日	月 日
画像データの必要期限	月 日まで	プレゼント招待券	希望する ・ 希望しない

■希望の作品No.に○をつけて下さい。

No.	作家名<作品名>制作年 所蔵先
1	金子富之《大舞虎》2019年
2	秋野不矩《ヴァラーハ(ヴィシュヌ化身猪)》1992年 浜松市秋野不矩美術館 蔵
3	秋野不矩《行者シヴァ》1978年 浜松市秋野不矩美術館 蔵
4	秋野不矩《地の祈り》1987年 個人蔵
5	秋野不矩《サラスヴァティ》1982年 浜松市秋野不矩美術館 蔵
6	金子富之《怖畏金剛》2014年 公益財団法人 蟹仙洞 蔵
7	金子富之《沙羯羅龍王》2018年